

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東北)	◎	衣料品専門店（店長）	・前年の6月頃は新型コロナウイルスへの対策が落ち着き、景気が少し上向いた。他方本願ではあるが、ワクチン接種が進んでくれば、前年同様景気が上向く局面が出てくるのではないかと期待している。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がある程度広まる。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・ワクチン接種が進み、経済活動が以前の状態に復帰するにつれ、景気も改善方向になると予想している。
	○	百貨店（経営者）	・ワクチン接種が進むにつれて、シニア層の来店が増加することを期待している。飲食店の営業が平常化し、街に出る理由が増えれば、身に着けるモノの消費などへの拡大が期待できる。
	○	スーパー（経営者）	・ワクチン接種が進むことで人混みに出やすくなり、今までのまとめ買い傾向も改善されるとみている。また、ワクチン接種の進捗状況にもよるが、東京オリンピックが近づくとつれ気持ちは高まり、人の動きも良くなってくると予想される。
	○	コンビニ（経営者）	・来客数は余り伸びていないが、客単価や買上点数が若干上向ってきている。前年比でみてもプラス、3か月前と比べてもプラスに転じている。これにワクチンの接種率が上がれば、良い方向に向かうのではないかと期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・夏場の祭りやイベントも続々中止、縮小が決まっているなかで、どうなるのか先が見えない。ワクチン接種も遅れているようなので、来客数も大して伸びないのではないだろうか。夏場に稼いで厳しい冬場を乗り越えていたのだが、夏場に稼げないなら本当にどうなるのか。ただただ不安である。力尽きる店舗も出てくるであろう。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大により、人の動きがより活発になると推測される。
	○	コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除されれば、人の動きが活発になり売上改善が見込める。
	○	コンビニ（エリア担当）	・盛夏に向けて上昇傾向になる見込みである。
	○	家電量販店（店長）	・前年より来客数は減っているが、単価が上がったことが好要因になっている。新型コロナウイルスワクチンを接種する年配者が多くなり、今後は接種を受けた客が増えて来客数が増えるのではないかと予想している。
	○	住関連専門店（経営者）	・3か月前にはワクチン接種も大幅に進み、東京オリンピックにも刺激されて、経済活動が活発化することが予想される。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・感染状況も落ち着いてきて、ワクチン接種も進んでくることが見込まれる。その影響で、来客数も戻ってくることが期待できる。
	○	高級レストラン（スタッフ）	・コロナ禍で倒産する企業が増えており、そこに外資が入ってくる。そのタイミングでコロナ禍が終了し、徐々に経済活動が増え、夜に外食する人が戻ってくる。
	○	一般レストラン（経営者）	・現在の状況が長く続けば、店を閉めなければならなくなる。ワクチンの効果が出てきて、客が戻ってくれることを願うばかりである。
	○	一般レストラン（経営者）	・ワクチンの接種率が上がってくれば良くなる。しかし、1年以上も続くコロナ禍において急激に良くなるということはなく、徐々に良くなるのではないかとみている。
	○	観光型ホテル（経営者）	・ワクチン接種が進み、国民が経済活動を徐々に始めるとみている。
	○	観光型旅館（経営者）	・ワクチン接種も始まってきているので、今よりは人の動きも増えてくるのではと期待したいところである。
○	観光型旅館（スタッフ）	・ワクチンの供給について、種類も増え、特に首都圏で接種が進むことにより、人流が増えることを期待したい。また、本県での宿泊施設に対する助成について、今夏も実施されることが決まっているので期待している。	
○	旅行代理店（従業員）	・東京オリンピック・パラリンピックが有観客で開催されれば、少し良くなるとみている。	

○	旅行代理店（従業員）	・感染者数の減少、並びに首都圏マーケットからの人流拡大が反転攻勢への最大のポイントである。ワクチン接種拡大によって、客のレジャーに対する心理的不安が緩和されることと、需要を誘発する地域観光支援事業が連動することにより、現在を底にして、徐々にではあるが復調に向かうとみている。
○	タクシー運転手	・タクシーを利用している高齢者の方々は、感染が怖くて外出控えをしているので、ワクチン接種が進むにつれ、我慢していた外出を1人、2人と始めることは明らかである。勾配はかなり緩いラインを描くと思うが、景気に変化をもたらすと推察される。
○	テーマパーク（職員）	・緊急事態宣言の解除などがなされれば、外出したい人がたくさんいるため、集客に期待できる。
○	遊園地（経営者）	・ワクチン接種が加速し、順番が若い世代にも回ってくれば、少しずつ景気も回復傾向に向かうとみている。
○	美容室（経営者）	・売上が今月はかなり落ち込んでいるので、それよりは良くなる。新型コロナウイルスワクチンの接種が進めば年配客が戻ってくると期待している。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスワクチン接種が進んでおらず、安心して外出できる環境ではないことから、現在と変わらない。
□	商店街（代表者）	・まだまだ2～3か月では自粛から抜け出せない。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが付かず、判断できない。
□	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・全国的なパンデミックの影響が更に拡大しており、地域社会においても巣籠り状態が改善される状況にはない。ワクチン普及の影響がどう出るか次第である。
□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・ワクチン接種が開始されてはいるが、数か月でこの状況が好転するとは到底思えない。各団体等の総会などの時期ではあるが、ここに来てそういった集まりもほぼ全てキャンセルとなっている。十分な支援もないなかでどこまで耐えていけるのか。本当に厳しい状況が続く。
□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・しばらくは低迷の状況が続くとみられる。
□	百貨店（売場主任）	・ワクチン接種がどこまで進むかにもよるが、首都圏や大都市圏の新型コロナウイルス感染が落ち着かない限り、報道等による心理的影響もあって、地方においても消費マインドは上向きにならないと考える。
□	百貨店（営業担当）	・乗客数が横ばい傾向であることから、現在では新型コロナウイルス感染者数やワクチン接種状況に大きく左右されることはないともみている。
□	スーパー（経営者）	・6月は経済活動の活性化や景気回復、消費の拡大の切り札としてのワクチン接種が緒に就いたばかりなので、しばらくは同じ状況が続くものと推測している。
□	スーパー（店長）	・乗客数の減少が続いていることに加えて、客単価が目立って落ち込んできている。この状況は今後も続くともみている。
□	スーパー（店長）	・この先は、減収している家計が増加することで、低単価商品ばかりに人気が集まる傾向が出てきて、結果、客単価が回復しないまま売上が作りにくい状況になると予測する。
□	スーパー（企画担当）	・まだまだコロナ禍が続いており、食品小売業は高水準のまま推移している。今年一杯くらいはこの状況は変わらないともみている。
□	スーパー（営業担当）	・内食需要の高まりで家庭内での食事が増え、生鮮の売上が好調だったが、5月は生鮮の売上也苦戦している。現状の厳しい状況は今後も続くともみている。
□	コンビニ（経営者）	・最低でも横ばいで推移しなければ、かなり厳しい状態になる。
□	コンビニ（経営者）	・気温上昇に伴い、客足が戻ってきたようではあるが、新型コロナウイルスの影響がまだ続くことが予想されるため、変わらないともみている。
□	コンビニ（エリア担当）	・首都圏を中心に新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいるが、観光地がある地方でのワクチン接種は時間が必要ともみている。
□	コンビニ（店長）	・東京オリンピックまでは全体的に自粛ムードが持続するという雰囲気がある。一部解除になったところで消費者のマインドは上がってくることはなく現状維持とみられる。

<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・ワクチン接種を早急に行わないと、人出が戻らず小売業は大変な状況になり、倒産する企業が増加する。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの終息が見えてくれば、気分も上がり、購買意欲も上向きになると期待している。だが、まだまだもう少し先とみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・高齢者から一般の人にワクチン接種が進まないと、日常生活を送ろうとするマインドにならないため、消費活動も慎重なままの状態が続くとみられる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・ワクチン接種が終わるまでは、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息のめどが立たない状態で、今後も大きな影響を受けるとみている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・コロナ禍でショッピングを自粛している状況は変わらないと予想している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・半導体の不足による車の納期の遅延がなかなか収まりそうになく、このまましばらく続くとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・受注は新型車の発表もあり順調に推移しているが、納期が半年以上の車種もあり、メーカーの生産予定がはっきりしていない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・受注はあるが、製造元が生産調整等のため、納期が延びつつある。3か月先も改善されているとは思えず、現状維持がしばらく続くのではないかとみている。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・受注生産をしているが、2～3か月後の受注量が乏しく、厳しい状況である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [食品]（経営者）	・ワクチン接種が飛躍的に進めばもう少し明るい兆しが見えると思うが、もう半年くらい掛かるのではないかと予想している。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [靴]（従業員）	・ワクチンの接種により、新型コロナウイルス感染者数にどのような影響があるのかが分からない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	・ワクチン接種や東京オリンピック開催等、動向が不透明であり見通しが立たないものの、大きな変化は当面ないとみている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	・新型コロナウイルス対策での自粛が解けるとは考えづらく、変化はないとみている。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が終われば、初秋以降は少し持ち直してくるとみている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・当地でも時短営業の延長が決まっている。せめて21時までアルコールが提供できるようにならなければ、景気は絶対に良くなるらない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	・とにかく新型コロナウイルス感染が収束するまで状況は変わらないと思う。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・現在の状況から好転するような材料に乏しい。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者が数か月連続して増えているため、生活費を節約する傾向が強くなってきている。自粛生活が日常的になり、通信環境の整備などに一気にブレーキが掛かってしまった。新たに出費することを控え、しばらく我慢する傾向が出てきており、この状況がしばらく続くとみている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しないと厳しい。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス次第である。
<input type="checkbox"/>	観光名所（職員）	・やはりワクチン接種が一番の起爆剤になる。自分の80歳以上の家族にもやっと回ってきたが、とにかく進行が遅い。このままでは景気の回復は半年後でも望めるかどうか怪しいところである。ワクチン接種による人々の新型コロナウイルスに対する意識の変化を待たなければ、回復は望めない。
<input type="checkbox"/>	遊園地（経営者）	・高齢者へのワクチン接種が進み、心理的に好転すればいいが、変異株のこともあり、見通しにくい。
<input type="checkbox"/>	競艇場（職員）	・ほぼ常連客ばかりなので売上は今後も変わらないとみている。ただ、大口客の動きによっては売上が大きく変わるので、良くなることも考えられる。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・新規客がほとんどいないので変わらない。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（経営者）	・震災復興が一段落した状態であり、新たな建設需要を喚起する話題は特にない。今後は、脱炭素社会、省エネ等を念頭に置いた既存建物の改修が多くなり、設備設計は一定の業務が続くとみている。しかし、新築が減少することから、構造設計は市場が縮小すると予想している。

□	住宅販売会社（経営者）	・全体的な受注量は変わらないが、住宅の占める割合が下がってきている。
▲	商店街（代表者）	・ワクチンの接種が始まったが街中の様子はほとんど変わらない。2～3か月先については予想が付かないが、自店の予約状況からみても今とほとんど変わらないか、悪くなると予想している。
▲	百貨店（買付担当）	・ワクチン接種次第である。近隣のショッピングセンターや学校等でも感染者が出ており、いつ外出自粛になってもおかしくない状況である。それまでは粛々と営業するしかないと考える。
▲	スーパー（店長）	・前年は新型コロナウイルス感染が拡大した状況のなかで、飲食店ではなくスーパーに客が殺到した。それから1年経ち、落ち着いた状況にある。また、4月にさくらんぼの低温被害が発生している。単品ではあるが、非常に分母が大きいため、さくらんぼの業績の下降は影響がある。
▲	スーパー（営業担当）	・県内産農産物の需要期になるが、今年の天候影響により大幅な不作傾向が予測され、県内経済環境に影響してくるのではないかと懸念している。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者がまた増えてきて、その影響がこれから出てくるとみている。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数が増えてきて、ワクチン接種も進まない状況では、良くなる要因がない。
▲	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったが、ある程度行き渡るまではもう少し悪化すると予測する。
▲	乗用車販売店（店長）	・ボリュームゾーン車種の半導体不足による生産遅延から、更に受注につながりにくい構造になっている。客の購買マインド低下にも影響している。
▲	自動車備品販売店（経営者）	・2年続きのイベント中止を決めている各種団体もあり、消費を地域人口だけで補うのは限界にきている。
▲	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・東京オリンピックの開催は1つの起爆剤になるのではと考えているが、うまくいくかどうか分からないのが本音である。飲食店の廃業なども今後ますます増えていくのではないかと危惧している。
▲	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右されるが、繁忙期である夏休み商戦にも影響が出始めていることから、旅行・観光業界における景気回復には至らない。夏休み商戦で受注数を伸ばすことができないとなれば経営は更に悪化傾向となる。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルスワクチンの接種が年配者から始まっている。早く全ての年代の人に行き渡ることを期待している。
▲	通信会社（営業担当）	・赤字になっているホテル業や飲食業以外の業種でも、決算状況によってボーナスが支給されない企業が出てくることから、消費動向は下降すると考える。新型コロナウイルスの感染が収束し、経済活動が活発になれば景気が上向くことはなく、現状に誰もがストレスを感じている。
▲	通信会社（営業担当）	・ようやく新型コロナウイルスワクチン接種が各地でスタートしたが、日本の全人口に行き渡り、収束するまでには1年超は掛かるとみている。収束の兆しが見えるまでは景気は悪くなり低迷する。
▲	観光名所（職員）	・緊急事態宣言の発出により再度の外出自粛が見込まれる。
▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・まだまだ先が良くなる見込みはない。
▲	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器はエアコン以外の問合せは減っている。リフォームは家計に響くような高額な工事は先延ばしにされているようである。
▲	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・来場者数はイベントの開催有無に左右されるため、現状と大きな変化はないとみている。ただ、今年度の住宅販売数は前年比で大きく下がっていないため、1～2年後に購入を予定する客の来場が減少していると分析している。
×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・5月31日で終わるはずの当地での時間短縮営業が、一部地域を除いて6月13日まで延長となっている。これでは全く人の流れは戻らない。また、東京方面の緊急事態宣言の解除が6月20日なので、東京からの人の流れもストップしてしまう。全国的なワクチンの接種が終わるまでは難しい。

	×	一般小売店〔医薬品〕 (経営者)	・年配客が多いため、現在のコロナ禍の状況が変わらなければ、元に戻る条件が満たされない。元に戻ったとしても、これまでの客が戻ってくるかは不透明であり、何ともいえない。
	×	スーパー (経営者)	・東京オリンピック開催の付けが国民に回されるという不安があり、買物行動を控えるマインドにつながるとみている。
	×	家電量販店 (従業員)	・1品単価、買上点数共に少しずつだが減少傾向がみられる。
	×	その他専門店〔酒〕 (経営者)	・その場しのぎの新型コロナウイルス対策が続くと、収束が長引き深刻な状況になることが懸念される。英国などのように徹底して状況が改善する見通しを立てないと飲食店が壊滅する可能性が高い。
	×	一般レストラン (経営者)	・思い切った全国規模での封じ込めが実現しない限り、仕事の移動や学校関係の動きで新型コロナウイルス感染は増える一方である。どこかが減っても別のどこかが増えるようないたちごっこを抑止しない限りは経済は伸びないままである。
企業 動向 関連 (東北)	◎	建設業 (企画担当)	・当地では、ワクチンの接種が始まり、新型コロナウイルス感染者数も安定してきているため、新型コロナウイルスに対する受け止め方がかなり落ち着いてきている。
	○	食料品製造業 (営業担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大により、繰り返し行動の自粛を求められている今の状況を見ると期待は薄い。通販の売上も前年ほどの勢いはない。
	○	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・ワクチンの接種の人数次第では、やや盛り返すのではないかとみている。
	○	金属製品製造業 (経営者)	・新型コロナウイルスの影響によって変化する可能性はあるが、後ろ倒しになった受注が一気にくると予想している。
	○	広告代理店 (経営者)	・ワクチン接種が進めば、大きく経済は動くともみている。
	○	経営コンサルタント	・ワクチン接種が加速することで、心理的にも実質的にも明るい展望が生起されると期待している。
	○	公認会計士	・新型コロナウイルスワクチンの接種率が高くなれば、消費者の購買意欲が戻り、小売業、サービス業も回復傾向に向かうとみている。また、飲食業の時間規制が外れてくればこちらも業績が回復するので、全体的な景気はやや良くなるとみている。
	□	農林水産業 (従業者)	・初夏の果物さくらんぼは、霜の害で収穫量減少が懸念されるものの、流通量減少により価格は上昇することが予想される。
	□	食料品製造業 (経営者)	・東京オリンピックも開催がどうなるか分からないが、開催しても入場者数の制限など人の動きはかなり制限されるとみている。また、当地の七夕祭りも開催する方向だが大きく制限された形になりそうなので、土産需要はかなり厳しい状況が続くことが予想される。
	□	食料品製造業 (営業担当)	・今年になって月の売上が前年比をキープできることが多くなっており、マイナス状況は底を打ったとみているが、2～3か月では景気の変化は感じられないとみている。
	□	輸送業 (経営者)	・ワクチン接種率が増えていくのと並行して景気も回復していくと予想する。インド変異株が猛威を振るわないうちに、ワクチン接種が劇的に進捗することを願っている。
	□	通信業 (営業担当)	・客の心情を逆なでしないよう気を使いながら、つなぎ止めの施策を絞り出すしかない。
	□	通信業 (営業担当)	・緊急事態宣言及び時短営業が長引いていることで経営が厳しくなる企業も増えており、営業を断られることも増えている。
	□	金融業 (営業担当)	・ワクチンが行き渡り、新型コロナウイルスの感染収束のめどが立つまでは厳しい状況が続くと見込まれる。
	□	金融業 (広報担当)	・ワクチン接種が広く浸透し、その効果が地場経済活動に好影響を与え始めるにはもう少し時間が掛かるものと考えている。
□	広告業協会 (役員)	・夏の三大祭りの1つが前年同様中止との発表があり、イベントの復活にはまだ遠い道のりである。ワクチン接種が順調に、早期に進むことだけが頼みの綱である。	
□	広告代理店 (経営者)	・緊急事態宣言エリアでの期間の延長、その後の解除がいつになるか見通せない。	
□	その他非製造業〔食料品卸売業〕 (経営者)	・ワクチン接種をいかに早く行うことができるかが鍵である。順調に進めば良くなるし、そうでなければ悪くなる。	

	□	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・ここ数か月間でワクチン接種が進むのは高齢者が中心で、新型コロナウイルスの感染拡大のリスクは今後も変わらない。現在の緊急事態宣言の発出と解除が繰り返されると予想している。
	□	その他企業〔企画業〕（経営者）	・街の温泉街の予約状況をたずねても、低調なことに変わりはないようである。元来、県外客が多いため、新型コロナウイルスの影響による足止めがまだ続くような気配を感じているとのことだった。
	□	その他企業〔協同組合〕（職員）	・コロナ禍が収束しない状況下で活発な打合せや新規客先への訪問等ができず、依然として受けの状態が続いている。新規案件がなかなか見込めずにいる。
	▲	農林水産業（従業者）	・4月の強い遅霜により、果物全般で大きな被害が出ており、品質と数量の低下は避けられない。
	▲	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・東京オリンピックの経済効果が期待できないことや、新型コロナウイルスの終息がまだみえてこない現状から、経済の回復には相応の時間が掛かるとみられる。
	▲	電気機械器具製造業（企画担当）	・半導体需要が落ち着きつつあり、今後としては従来の価格帯に戻るとみられ、相対的に景気は若干悪くなると考えられる。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・コロナ禍の影響により、個人消費は引き続き伸びないものとみている。
	▲	建設業（従業者）	・緊急事態宣言の延長見込みにより、事業者内での意思決定が先延ばしになるケースが増加することが予想される。
	▲	司法書士	・住宅用木材の輸入について、不透明感があるとして、住宅着工への悪影響を懸念する声がある。
	▲	コピーサービス業（従業者）	・新型コロナウイルス感染の収束がみえないなか、設備投資については慎重になっている企業が多い。また、直接商品に触れることができる展示会などが開けないなか、商品の訴求力を高めることが難しくなっている。
	×	窯業・土石製品製造業（役員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、消費は低迷し、民間工事も停滞している。東北に地域をけん引するような大型プロジェクトも見当たらない。
雇用 関連 (東北)	◎	人材派遣会社（社員）	・他県にて、感染者を収容している民間ホテル内での24時間支援派遣を受託し増員中である。県内の自治体からもワクチン接種の受付業務を受注し選考中である。外部人材の需要が高まっている。
	◎	アウトソーシング企業（社員）	・今後、ワクチン接種も進み平常を取り戻すとみている。
	○	人材派遣会社（社員）	・業績の回復が見込めないと、求人にも跳ね返ってこない。ワクチンがある程度浸透すれば業績の回復を見込める企業もあり、そういった企業が求人回復、採用を復活させることが予想される。
	○	人材派遣会社（社員）	・B to Bビジネスを中心に、今後の成長を見据えた採用強化の動きが強く、商況としては良化していくことが想定される。
	○	人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種の進捗によるが、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が延期されなければ少し状況は良くなるとみている。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・高齢者のワクチン接種が始まっている。7月末に完全接種終了とはいかなくても、接種を終えた高齢層が動き出すことは間違いない。経済的にも余裕のある世代なので、旺盛な消費が期待できる。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・世界文化遺産の登録勧告を受けたことにより、地域の活性化が期待される。
	○	職業安定所（職員）	・働き盛りの人へのワクチン接種開始が鍵になるとみている。売手市場だった雇用情勢に戻っていくことができれば、県内への企業の誘致、工場の増設の話もあり、期待が持てる。
	□	人材派遣会社（社員）	・状況的にコロナ禍が落ち着かない限り活発な採用、求職者の動きは見られない。
	□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響が緊急事態宣言などで一段と大きくなっている。今後の見通しは東京オリンピックの経過とワクチン接種の進み次第と予測している。
□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がある程度進むまでは一進一退が続くのではないかとみている。	

□	職業安定所（職員）	・前年と今年の4月で比較すると新規求人数は約600人、有効求人数は約700人増加している。しかし、新規求人数、有効求人数共に前々年の数字には届いていない。今後も同様の傾向は続くとみている。
□	職業安定所（職員）	・東京オリンピックの開催について不透明な状況にあり、激変の可能性もある。
□	学校〔専門学校〕	・コロナ禍において、巣籠り需要の継続により、テイクアウト等のサービスを展開できる業種は求人の増加が想定されるが、観光等の業種は依然厳しい現状が続くとみられ、総合的には変化がないとみている。
▲	職業安定所（職員）	・求職者数が増加しており、大型工事が終期を迎えていることから、景気は悪化していくとみている。
×	人材派遣会社（社員）	・東京オリンピック開催で更に消費マインドが落ち込むことが想定される。
×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ワクチンが行き渡るまでは現在の状況が続くと予想される。